

平成 24 年 4 月 30 日

関係高等学校長 様

千葉県高等学校教育研究会
視聴覚部会長 石川 和之
(公印省略)

第 59 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト千葉県大会のご案内

千葉県大会について、下記のように開催を予定しています。校務御多忙中のところ誠に恐縮ですが、多数の参加をいただきたく、御案内申し上げます。

記

1. 目的 現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望をもつ人間としての成長をめざし、校内放送活動をメディアリテラシーの実践として位置づけ、情報発信としての放送活動の発展をはかる。
2. ねらい
 - (1) 美しく豊かな日本語を大切にすることの大切さを育て、あわせて話す力、表現する力を高める。
 - (2) 情報発信者としての自覚を高め、あわせて創造性を育てる。
 - (3) 社会との関わりに目を向け、放送の果たす役割を学ぶ。
 - (4) 人間尊重の心を培い、国際理解を深める放送の働きを確かめる。
 - (5) 学園生活の中にうるおいを育て、心のふれあいの場をつくる。
3. 研究主題 「私たち高校生と放送」
高校生の連帯、先生方とのきずな、地域や社会への結びつきを、日常生活の中で考え、主体的に放送活動に展開すること。
4. 主催 千葉県高等学校教育研究会 視聴覚部会
N H K 千 葉 放 送 局
5. 後援 千葉県教育委員会
千葉県高等学校長協会
千葉県私立中学高等学校協会
6. 実施部門
 - (1) 研究発表部門
 - (2) アナウンス部門
 - (3) 朗読部門
 - (4) ラジオドキュメント部門
 - (5) テレビドキュメント部門
 - (6) 創作ラジオドラマ部門
 - (7) 創作テレビドラマ部門
7. 参加資格及びその制限
 - (1) 2012 年 5 月現在、千葉県内の高等学校等に在籍中の生徒及びその作品であること。
 - (2) アナウンス部門・朗読部門では、1 名 1 部門の参加とします。
※ 昨年度の県代表生徒が同じ部門に参加する場合(シード)は、予選が免除されます。
 - (3) 研究発表部門・番組部門では、1 部門に 1 校 1 作品の参加とします。
 - (4) 番組制作の各部門は、高校生の創作に限ります。また、他のコンテスト・コンクールなどに参加した作品、およびそれを改変した作品の参加は認めません。

8. 会場・期日

(1) アナウンス部門、朗読部門 予選 (公開)

* 59回大会では、千葉県内を2つのブロックに分け、予選を行います。

ブロック	予選日時	予選会場	予選参加申込先
A・C・E 地区 合同予選	平成24年6月8日(金)	NHK 千葉放送局	市原中央高等学校 岡本 斎彦
B・D 地区 合同予選	平成24年6月11日(月)	NHK 千葉放送局	千葉県立小金高等学校 宇野 智之

* 各学校が所属する地区については、別紙の千葉県高等学校教育研究会視聴覚部会 地区割り一覧をご確認下さい。

* 予選の日程 9:30 ~ 16:30 受付完了 9時30分 予選開始 10時

* 予選の会場(NHK 千葉放送局)

住所：千葉市中央区千葉港5-1【京葉線千葉みなと駅徒歩5分】電話：043-203-1001

<参加申込先> **6月1日(金)必着**

ACE 地区合同

市原中央高等学校 岡本 斎彦 宛 nconmousikomi@gmail.com

電話番号 0436 (36) 7131 Fax 番号 0436 (36) 7141

BD 地区合同

千葉県立小金高等学校 宇野 智之 宛 tomo@unono.com

電話番号 047 (341) 4155 Fax 番号 047 (349) 2030

- ① 参加申込書(エクセル形式)を千葉県大会ホームページ(12.参照)よりダウンロードし必要事項を記入の上、上記予選参加申込先宛、6月1日(金)必着で、添付ファイルで提出して下さい。参加申込み先のアドレスは上記をご覧ください。
- ② 予選参加者数の学校ごとの制限はありません。アナウンス部門と朗読部門の予選を行い、各部門において県大会本選進出者を決定します。本選進出者の選考では、同一校から選出される生徒数は、各部門それぞれ3名以内とします。
- ③ 予選の日程は、受付完了9時30分、予選開始10時とします。会場のNHK千葉放送局は8時30分に開場の予定です。
- ④ **原稿2部と参加費**(1人につき1500円)を予選当日に持参し、受付に提出して下さい。
 - * 当日欠席した場合でも、申し込んだ人数分の参加費は申し受けます。
 - * シード=前年度の県代表者が同一部門に参加する場合は、予選で審査を行わず県大会本選に進出します。申込時、用紙のシード欄に必要事項を、備考欄に参加部門名を記入して下さい。
- ⑤ アナウンス部門予選では、1分10秒以上1分30秒以内の原稿をアナウンスします。
- ⑥ 朗読部門予選では、1分30秒以上2分以内の原稿を朗読します。
- ⑦ 審査は予選参加校顧問および主催者が委嘱した審査員が行います。
- ⑧ 全国大会に推薦された場合、アナウンス原稿の内容を入力したデータを後日提出します。
- ⑨ 会場の駐車場には限りがあるため、お越しの際は、公共の交通機関を利用されるか、近隣の有料駐車場をご利用頂けるよう、ご協力をお願いします。

(2) 研究発表部門、番組部門 予選 (公開)

ブロック	予選日時	予選会場	予選参加申込先
全県一斉	平成24年6月12日(火)	NHK 千葉放送局	木更津総合高等学校 高澤 芳弘

* 予選の日程 9:30 ~ 16:30 受付完了 9時30分 予選開始 10時

* 予選の会場(NHK 千葉放送局)

住所: 千葉市中央区千葉港5-1【京葉線千葉みなと駅徒歩5分】電話: 043-203-1001

<参加申込先> **6月1日(金)必着**

○ 木更津総合高等学校 高澤 芳弘 宛 yoshihiro@y-takazawa.info
電話番号 0438 (30) 5521 Fax 番号 0438 (30) 5630

- ① 参加申込書(エクセル形式)を千葉県大会ホームページ(12.参照)よりダウンロードし必要事項を記入の上、上記予選参加申込先宛、6月1日(金)必着で、添付ファイルで提出して下さい。参加申込み先のアドレスは上記をご覧ください。
- ② 予選の日程は、受付完了 9時30分、予選開始 10時とします。
- ③ **研究発表要旨2部または番組作品(本編とバックアップ)と台本2部、及び参加費**(1作品につき1500円)、研究発表部門は研究要旨を入力したデータ、ドキュメント部門は制作意図を入力したデータ、創作ドラマ部門は制作意図とあらすじを入力したデータ等も併せて、6月12日(火)予選当日 9時30分までに顧問の責任で予選当日に持参し、受付に提出して下さい。上記入力データは、CD-R・USBメモリー等に記録して提出して下さい。作品・台本等は、作品ごとに封筒に入れて提出して下さい。封筒の表面には、参加部門名、学校名、作品名を明記して下さい。
- ④ 提出時刻に遅れた作品は失格とする場合があります。
- ⑤ 審査は全参加校顧問および主催者が委嘱した審査員が行います。
- ⑥ 会場の広さに限りがあるため、番組予選に参加(見学を含む)する生徒の人数は、各校12名までとします。

(3) 本選(公開) 6月22日(金) 9:30 ~ 17:00 会場 千葉県教育会館大ホール
(住所: 千葉市中央区中央4-13-10 電話: 043-227-6141)

- ① アナウンス部門、朗読部門では、予選で選出された生徒にシード(昨年度の県代表生徒が同じ部門に参加する場合)の生徒を加え、部門ごとに発表・審査をし、千葉県代表を決定します。
- ② 研究発表部門、番組部門では、予選で選出された作品を部門ごとに発表・審査をし、千葉県代表を決定します。
- ③ 全国大会への推薦数は以下の通りです。(数字は県から推薦できる最大数)
アナウンス部門、朗読部門: 各6名 ドキュメント部門: 各4本
創作ドラマ部門: 各2本 研究発表部門: 2本

9. 審査 主催者が委嘱した審査員が行う。

審査員は、主催者が委嘱した専門審査員(NHK職員等)と教員審査員から構成されます。予選審査については参加校の顧問を中心に行います。採点は、校内放送として望ましいあり方に重点をおきます。

10. 参加費 各部門、1名または1作品につき、1500円です。

全国大会に推薦された場合には、全国大会参加費の半額(アナウンス・朗読部門：1名につき2000円、番組部門：1作品につき3000円、研究発表部門：1500円)を本選当日に徴収します。

11. 参加作品の著作権および個人情報

- (1) 参加作品の著作権は、制作者(応募した学校)と主催者に共同して帰属します。応募された作品などは、主催者に関連する印刷媒体、ホームページ、放送などで利用されることがあります。
- (2) 当コンテストのために集められた個人情報については、コンテストの目的以外には使用しません。

12. 参加申込書ならびに参加規定

- (1) 千葉県大会各部門の参加申込書は、千葉県大会ホームページ
<http://homepage3.nifty.com/ncon-chiba/> よりダウンロードして入手して下さい。
- (2) 全国大会の参加規定等を掲載した校内放送研究157号は、コンテストホームページ
<http://www.nhkk.or.jp/> よりダウンロードして入手して下さい。

13. その他

- (1) アナウンス部門・朗読部門の成績上位者の中から、全国高等学校野球選手権千葉大会開会式(7月11日)・閉会式(7月25日)の司会担当を選出します。
- (2) 全国大会終了後、校内放送活動研究協議会(職員対象)、番組部門合同研修会(生徒対象)を行います。千葉県大会に参加した学校の職員ならびに生徒の皆さんは、上記研究協議会・合同研修会への参加にご協力下さい。研究協議会ならびに合同研修会の日時・場所は別途ご連絡します。
- (3) 第59回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会の日程は7月23日(月)～26日(木)、会場は、国立オリンピック記念青少年総合センターならびにNHKホールです。

14. 問い合わせ先 千葉県大会についてのご意見・ご質問は、以下までご連絡下さい。

成田高等学校 和泉 洋一 〒286-0023 成田市成田27番地
電話番号：0476(22)2131 Fax番号：0476(23)0234
e-mail：narita_housou_izumi@yahoo.co.jp

第 59 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト参加作品規定

(詳しくは全国大会ホームページ <http://www.nhkk.or.jp/> よりダウンロードした『校内放送研究 157 号』を参照して下さい。)

1. コンテスト各部門の規定

(1) 研究発表部門

- ・ 日常の校内放送活動の中から、問題解決の努力または技術的な創意工夫などを機材調整を含め **8 分以内**で発表します。発表者は機器操作を含め **3 名以内**とします。
- ・ 発表内容は、校内放送に関するものに限り、(校内放送の技術、機材、アナウンス・朗読の技術、番組の制作や編集の技術、部活動・委員会活動の運営方法など)
- ・ コンテストの他部門にエントリーしている作品に関連する内容、または類似の内容であってはなりません。
- ・ 発表形式は、主にパソコンを使用したスクリーン 1 面によるプレゼンテーションとします。(2 画面の投影はできません。)
- ・ 発表で使用するアプリケーションソフトウェアは、PowerPoint2010、Word2010、Internet Explorer (インターネットには接続できない)とします。
- ・ 参加申込みは 1 校 1 研究のみとします。
- ・ **研究内容の要旨(A4 用紙 200 字程度) 2 部とそのテキストデータ(エクセル形式)を提出**します。**テキストデータは CD-R に保存して提出**します。
- ・ 予選において発表を行い、県代表を決定します。本選においても発表を行う予定です。本選での発表は、大会運営上なくなることもあります。
* 県代表は全国大会において「校内放送研究発表会」で発表を行います。

(2) アナウンス 部門

- ・ 自校の校内放送に使用する内容とし、原稿は生徒が自作したものに限り、
- ・ **番号、氏名を含め 1 分 10 秒以上 1 分 30 秒以内**でアナウンスします。校名は読みません。
- ・ **原稿は校内放送研究 157 号様式 1 により、A4 用紙 2 つ折で作成し、2 部提出**します。
- ・ 全国大会に推薦された場合、アナウンス原稿の内容を入力したデータを後日提出します。

(3) 朗 読 部門

- ・ 次の指定作品の中から 1 編を選び、朗読します。作品の改変は認めません。

① 銀の匙	中 勘助 著 (岩波文庫)
② ひとり暮らし	谷川 俊太郎 著 (新潮文庫)
③ さがしもの	角田 光代 著 (新潮文庫)
④ 人間の土地	サン＝テグジュペリ 著 堀口 大學 訳 (新潮文庫)
⑤ 徒然草	吉田 兼好

- * ②・③については、収録作品のいずれを選んでも構いません。③については選定した短編名を作品名として読みます。
- * ⑤(古典)については、現代語訳は不可です。出版社は問いません。
- * 文章中の短歌・俳句は繰り返して読まないで下さい。

- ・ **番号、氏名、作者名(訳者名は読まない)、作品名を含め 1 分 30 秒以上 2 分以内**で朗読します。校名は読みません。
- ・ **原稿は校内放送研究 157 号様式 1 により、A4 用紙 2 つ折で作成し、2 部提出**します。
* ①～④については原稿表紙に、抽出部分の開始ページ数を記入します。

番組各部門

参加作品を地域番組や夏のラジオクラブ・テレビクラブなどで放送したり、イベントやホームページ等に利用することがあります。制作にあたっては、番組に登場する出演者、協力して頂いた方々などに利用のための承諾を得てください。許諾が得られないときには放送できないことがあります。

(1) ドキュメント部門（ラジオ・テレビ各部門）

- ・ 高校生活や地域社会とのかかわりの中に広く素材を求め、ラジオ・テレビの特性を生かして制作された、高校生としての視点を大切に、独創的な作品であること。
- ・ ラジオドキュメント部門では6分30秒以上7分以内、テレビドキュメント部門では7分30秒以上8分以内でまとめます。
- ・ 各1部門に1校1作品の参加とします。ラジオドキュメント部門・テレビドキュメント部門のそれぞれに参加することができます。(最大1校2作品)
- ・ ラジオ部門の作品は、CD-DA形式(音楽CDと同じ形式)で録音されたCD-Rで提出します。バックアップ用として、作品を録音したオーディオカセットテープまたはMDを提出して下さい。カセットテープはドルビー等のノイズリダクション方式は使用できません。MDは標準モードで録音し、トラックを1つにまとめます。
- ・ テレビ部門の作品は、DVD-VIDEO形式(NTSC規格、アスペクト比4:3か16:9)で録画されたDVD-R(メニューは付けない)で提出します。バックアップ用として、作品を録画したVHSテープ(標準モード)を提出して下さい。
- ・ 作品提出は、本編とバックアップの両方を提出して下さい。
- ・ 台本は校内放送研究157号様式2に従ってA4用紙2つ折で2部提出します。台本の2頁は様式2-2により制作意図とします。
- ・ 詳細は次頁のラジオ・テレビ各規定によります。

(2) 創作ドラマ部門（ラジオ・テレビ各部門）

- ・ 脚本は参加資格を有する自校生徒のオリジナル作品であること。(文芸作品などからの脚色や改作は認めません。)
- ・ 出演者は自校生徒に限ります。
- ・ ラジオ部門・テレビ部門とも8分以内でまとめます。
- ・ 各1部門に1校1作品の参加とします。創作ラジオドラマ部門・創作テレビドラマ部門のそれぞれに参加することができます。(最大1校2作品)
- ・ ラジオ部門の作品は、CD-DA形式(音楽CDと同じ形式)で録音されたCD-Rで提出します。バックアップ用として、作品を録音したオーディオカセットテープまたはMDを提出して下さい。MDは標準モードで録音し、トラックを1つにまとめます。
- ・ テレビ部門の作品は、DVD-VIDEO形式(NTSC規格、アスペクト比4:3か16:9)で録画されたDVD-R(メニューは付けない)で提出します。バックアップ用として、作品を録画したVHSテープ(標準モード)を提出して下さい。
- ・ 作品提出は、本編とバックアップの両方を提出して下さい。
- ・ 台本は校内放送研究157号様式2によりA4用紙2つ折で作成し2部提出します。
- ・ 台本の2頁は校内放送研究157号様式2-2により制作意図とし、台本の3・4頁は様式2-3によりドラマのあらすじを最初から最後まで書いて下さい。
- ・ 詳細は次頁のラジオ・テレビ各規定によります。

ラジオ部門規定

- (1) ラジオドキュメント部門では6分30秒以上7分以内、創作ラジオドラマ部門では8分以内でまとめます。
- (2) 作品の最後には「制作は〇〇高等学校(放送部・放送委員会等)でした。」というクレジットコールを入れます。クレジットコールには、クレジットコール以外の音声(BGM・SEなど)を入れないこと。
- (3) 計時は最初の音から、クレジットコールの終わり(……でした)までとします。
- (4) 様式2(校内放送研究157号)による台本[A4用紙2つ折]を作成し**2部提出**します。
- (5) 作品はCD-DA形式(音楽CDと同じ形式)で録音されたCD-Rで提出します。提出するCD-Rには、部門名、学校名、作品名を記載して下さい。
- (6) バックアップ用として、作品を録音したオーディオカセットテープまたはMDを提出して下さい。カセットテープはドルビー等のノイズリダクション方式は使用できません。MDは標準モードで録音し、トラックを1つにまとめます。

<台本の書き方>

- 表紙→様式2-1(校内放送研究157号)。タイトルは全角15文字までとします。JASRAC許諾番号を記入する。
- 制作意図(2頁)→様式2-2(校内放送研究157号)により、200字以内でまとめます。
- あらすじ(創作ドラマ部門のみ3・4頁)→様式2-3(校内放送研究157号)により、あらすじは省略せずに初めから最後まで書き、400字以内でまとめます。
- 本文→様式2-4(校内放送研究157号)を参照
 - ・ 時間を記入します。
 - ・ 音声レベルを記入し、使用著作物については、使用著作物一覧表に対応した番号を記入します。
 - ・ キャスト(インディエアー・ナレーションなど)を記入します。
 - ・ 音声内容(インディエアー内容・ナレーション内容など)を記入します。
- 制作スタッフ・キャスト一覧→様式2-5(校内放送研究157号)
- 使用著作物一覧→様式2-6(校内放送研究157号)により、使用した著作物を全て記入します。著作権処理が不要なものには、番号を○で囲みます。
- 著作物使用許諾の証明→JASRACの録音利用許諾書などを添付します。著作権フリーの場合は使用条件を示した部分のコピーも添付します。(アーキー・EXインダストリーは不要です。)
- 著作隣接権処理の証明→レコード会社の音源使用許諾申請書および回答書などを添付します。(アーキー・EXインダストリーは不要です。)

* 台本様式のダウンロードは、全国大会ホームページ(http://www.nhkk.or.jp/ncon/ncon_h/)をご確認下さい。

テレビ部門規定

- (1) テレビドキュメント部門では7分30秒以上8分以内、創作テレビドラマ部門では8分以内でまとめます。
- (2) 作品の最後には、「制作 ○○高等学校(放送部・放送委員会等)」のような、クレジットタイトルを入れます。
- (3) 作品の前後には**5秒ずつ、様式3(校内放送研究157号)のテストパターンを入れます。**テストパターンは全国大会ホームページからダウンロードします。テストパターンを改変してはいけません。
- (4) 計時は初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの始まりまでとします。
- (5) テレビ放送番組等の再録を主体としたものは認めません。
- (6) 様式2(校内放送研究157号)による台本[A4用紙2つ折]を作成し2部提出します。
- (7) 作品はDVD-VIDEO形式(NTSC規格、アスペクト比4:3か16:9)で録画されたDVD-R(メニューは付けない)で提出します。提出するDVD-Rには、部門名、学校名、作品名を記載して下さい。
- (8) バックアップ用として、作品を録画したVHSテープを提出して下さい。標準モードで録画し音声はHi-Fiのみの使用とします。

<台本の書き方>

- 表紙→様式2-1(校内放送研究157号)。タイトルは全角15文字までとします。JASRAC許諾番号を記入します。
- 制作意図(2頁)→様式2-2(校内放送研究157号)により、200字以内でまとめます。
- あらすじ(創作ドラマ部門のみ3・4頁)→様式2-3(校内放送研究157号)により、あらすじは省略せずに初めから最後まで書き、400字以内でまとめます。
- 本文→様式2-4(校内放送研究157号)を参照
 - ・ 映像の絵コンテ(映像の説明)を記入します。使用著作物については、使用著作物一覧表に対応した番号を記入します。
 - ・ 音声レベルを記入し、使用著作物については、使用著作物一覧表に対応した番号を記入します。
 - ・ 時間を記入します。
 - ・ 音声内容の欄にキャスト(インタビュー・ナレーションなど)、ならびに音声内容(インタビュー内容・ナレーション内容など)を記入します。
- 制作スタッフ・キャスト一覧→様式2-5(校内放送研究157号)
- 使用著作物一覧→様式2-6(校内放送研究157号)により、使用した著作物を全て記入します。著作権処理が不要な物には、番号を○で囲みます。
- 著作物使用許諾の証明→JASRACの録音利用許諾書、新聞記事・美術品の使用許諾書などを添付します。著作権フリーの場合は使用条件を示した部分のコピーも添付します。(アーキー・EXインダストリーは不要です。)
- 著作隣接権処理の証明→ラジオ規定と同様

* 台本様式のダウンロードは、全国大会ホームページ(http://www.nhkk.or.jp/ncon/ncon_h/)をご確認下さい。

2. 著作権処理について

- (1) 作品に使用した著作物(音楽・効果音・新聞・書籍・美術品・写真など)については、著作物権利者ならびにJASRACなどを通して著作権の処理が必要です。**著作権処理は校内放送研究157号を熟読し、各校で責任をもって確実に行って下さい。**
- (2) 作品の本編とバックアップの両方を提出して頂きます。JASRACの録音利用明細書及び映像ソフト録音利用明細書については、本編用の申請とバックアップ用の申請が必要になります。手続きの上、許諾番号を作品(本編・バックアップ)と台本に記入(本編用・バックアップ用の両方の許諾番号)し、録音利用許諾書(本編用・バックアップ用の両方)の写しを台本に1部添付して下さい。
- (3) 著作権フリーの場合、使用条件を示した部分の写しを、台本に1部添付して下さい。(アーキー・EX インダストリーのもの不要です。)
- (4) インターネット上などでダウンロードした音源(著作権フリーと称されているものも含む)の使用は禁止します。また、携帯電話などの着メロ・着うたなどの使用も禁止します。
- (5) レンタル店、図書館などから借りた音源の使用は禁止します。
- (6) NHK クリエイティブ・ライブラリー(<http://www.nhk.or.jp/creative/>)で公開されている素材、効果音などが使用できます。使用する場合は、使用許諾は必要ありません。また、このコンテンツでの使用に限り、作品内で「NHK クリエイティブ・ライブラリー」と表示する必要はありません。
- (7) 市販のCDなどの音源を利用する場合、著作隣接権の処理が必要になります。校内放送研究157号様式2-7などを利用し、著作隣接権の所有者(レコード会社など)が指定する方法で、音源使用の許諾を受けて下さい。様式2-7などの音源使用許諾を証明する書類の写しを台本に1部添付して下さい。(アーキー・EX インダストリーは不要です。)

* JASRAC(日本音楽著作権協会)が管理する楽曲の検索、録音利用申込書(新譜用)・録音利用明細書のダウンロード、映像ソフト録音利用申込書(新譜用)・映像ソフト録音利用明細書のダウンロードは、JASRAC ホームページ(<http://www.jasrac.or.jp>)をご確認下さい。